

2010 年度株式会社ジェイコムウエストかわち局
放送番組審議委員会議事録

- 1.開催日時 2011 年 3 月 29 日(火) 10:30～12:30
- 2.場 所 株式会社ジェイコムウエストかわち局 大会議室
- 3.出席者 <番組審議委員> 7 名(内2名欠席)
- | | |
|-------------------|--------|
| 八尾商工会議所 専務理事 (会長) | 溝田 登 |
| 大阪経済法科大学 法学部教授 | 木村 惇 |
| 昭和航空株式会社 専務取締役 | 佐々木小夜子 |
| 大阪府民生児童委員 柏原西地区担当 | 藤田 昌弘 |
| 松原商工会議所 専務理事 | 橋本 正 |
- <事務局> 4 名
- | | |
|---|-------|
| (株)ジェイコムウエストかわち局 業務局長 | 橋本 竜夫 |
| (株)ジェイコムウエストかわち局 営業局長 | 佐藤 浩 |
| (株)ジュピターテレコム放送制作部 関西メディアセンター
東大阪事務所 アシスタントマネージャー | 石塚 淳 |
| (株)ジェイコムウエストかわち局 業務局 | 岩本 真理 |
- 4.内 容 (1)事業概況の報告(橋本)
- ・株式会社ジュピターテレコム 代表取締役社長の交代
 - ・東北大震災発生後の当社の対応・現地局の状況について
 - ・KDDIとのアライアンス
- (2)加入状況・新サービスの説明(佐藤)
- ・エリア内視聴加入世帯数
 - ・デジタル100プロジェクト
 - ・新サービス「J:COM My Style」
- (3)番組編成・コミュニティチャンネルについて(石塚)
- ・コミュニティチャンネルDVD上映
 - ・生放送番組「8時です！生放送！！」の紹介
- (4) 番組審議委員との意見交換 (以下参照)
- 5.質疑応答・意見交換
- (委 員) 東北大震災では多数の報道機関が取材を行っているが、災害が起きた場合J:COMではどのような報道を行うのか。
- (事務局) 住民に甚大な被害をもたらす自然災害や事故が発生した場合は報道します。今回の

震災についても特集を組み、被災地から生中継をするなどの放送を行いました。

(委員) 民放各局の報道を見ていると、果たして被災者側に立った報道がなされているのか疑問に思う。是非、被災者側に立った有益な細かい情報(ローン問題・雇用問題・各種手続き等)の提供を望む。

(事務局) J:COMは今回の東日本大震災に関する番組においては、津波や被災現場の映像を避け、復興に向けた取り組みを中心に取り上げています。特に被災地域である仙台局や関東地域の各局では文字放送を含め、有益な地域情報を地道に提供しています。先ほどご意見をいただいたものを参考に、地域メディアとして民放とは違った視点から実際に役立つ情報を提供していきたいと考えております。

(委員) その他では、地元の人を多数紹介して欲しい、例えば市民レポーターを募集してはどうか。そこから派生してJ:COMへの加入者が増えるのではないか。

(事務局) 一般の方の出演によりチャンネル知名度を高め、加入者の増加を期待できると認識しています。課題としては、ご参加いただける皆様を受け入れるシステム構築やルールづくりです。市民の皆様が番組にご参加いただけるよう努力していきます。

(委員) 以前、放映されていた地域の子どもの出演や、若ごぼうなどの地域特産物を紹介する番組は良かった。あのような番組を制作していただき、関西エリアだけでなく、相互に全国で放送をすれば地域活性化に繋がるのでは？

(事務局) 現在全国のJ:COMエリアで生放送を行っている「つながるセブン！」という番組で、地域情報を紹介するコーナーがあります。そちらで各拠点の特産品や名物を紹介するなどして、関西の情報を全国に発信できればと考えています。

(委員) 地域のイベント情報の提供については、事前に放送枠の年間スケジュールなどを教えていただくと準備・提供し易い。

(事務局) 今後、留意いたします。

本日、みなさまから貴重なご意見を伺いましたが、それを参考に今後も地域に愛されるコミュニティチャンネル作りに尽力いたします。

6. 閉会の挨拶(溝田会長)

以上